

教育ICT試験ってなに？

(教育用ICT活用能力認定試験)

学校教育においてITと同義であるICT (Information and Communication Technology) の表記が主流となってまいりましたので、当試験も第8回試験より「教育IT試験」から「教育ICT試験」に名称変更致しました。

21世紀の日本にはより高度なICT社会の実現が強く求められており、その先端ないし周辺分野の開発をになうべき人材育成のために、児童生徒の情報活用能力の向上のほか教育現場におけるICT化の効果的活用の推進がますます緊急の課題となってまいりました。

当財団では情報に係る処理&活用能力をはじめ文部科学省の「新 情報教育に関する手引き」にも対応した独自のコンピテンシー・モデルを策定し、教育関係者を対象にICT活用能力の自己確認の機会として、またスキルアップの励みとしても利用されることを願い、平成15年より本認定試験を実施しております。なお、平成19年3月の文部科学省「教員のICT活用指導力の基準の具体化・明確化に関する検討会」で討議されたスキル確認にもご活用いただければ幸いです。

能力目標

児童生徒の情報活用能力向上および基礎学力を高めるために教員のICT活用力向上を目指します。

3級

パソコンの基本的な知識を有し、様々なメディアを利用した学習指導、校務処理、およびインターネットなどの基本的な操作等ができる。

2級

授業などでの児童生徒に対する高度なICT活用指導力を有し、学習指導・校務処理や学校運営における教員への適切な助言などができる。

1級

2級レベルのICTに関する知識・技能ならびにアプリケーションソフトの活用能力を有し、学校教育の中で問題解決にその知識や技術が応用できる。



- 試験実施時期／実施級 6月(3級・2級)、11月(3級・2級・1級)
- 試験地 全国の主要都市9会場
- 試験形態 筆記試験(3級・2級は多肢選択式、1級は多肢選択式+記述式)

＊＊「出題範囲」等の詳細は財団Webでご確認ください＊＊

受験案内・
問題集
ご請求先



文部科学省所管
財団法人

科学技術教育協会 教育ICT試験事務局

〒160-0012 東京都新宿区南元町23番地 公立共済四谷ビル5階

TEL. 03-5367-9511 FAX. 03-3357-2727 E-mail. ict-exam@fest.or.jp

URL. <http://www.fest.or.jp/>

私たちも推薦します！



東京大学名誉教授
伊理正夫

ICT技術や生命工学の急速な進歩が良い意味でも悪い意味でも現代社会の隅々にまで大きな影響を与えています。

その影響を正しく捉え、科学技術の進歩を万人の日常生活に有効に活かし、明るい未来を築いていくためには、多くの人のICT活用能力を高めることが何よりも大切です。

本協会が永年英知を集めて作成したICT活用の能力試験・問題集を広く活用して、皆様が新しい知識社会の創生の中核となられるよう、心から願ってやみません。



佛敎大学 教育学部
教授 西之園晴夫

情報社会は同時に変動社会あるいは多様性社会であるといえます。たえず知識が新しくなり、産業も急速に変化します。このような社会に生きていくためには常に学ぶことを忘れないような若者を育成するとともに、情報教育担当者にも広い見識と的確な能力が求められています。

この教育ICT試験はこのような要望に応えるために設置されたものです。多くの人が自らの能力を高めるためにこの試験で資格を取得してほしいと期待します。



電気通信大学大学院
情報システム学研究科
教授 岡本敏雄

我が国の重要課題である社会基盤としての情報化は、将来の国の形を構成するものでもあります。それは、どのような人材を育成するかという問題でもあります。初等中等教育における児童・生徒の能力開発は先生方の力量に依存します。「教育用ICT活用能力認定試験」は、先生方の自己研鑽のための手段として、大いに役立つと期待します。我が国で唯一の実績のある試験で、自己評価を試みて頂ければと願います。



千里金蘭大学
人間社会学部
教授 高橋参吉

教育用ICT活用能力認定試験は、情報教育の目標の3つの観点、さらには、学校教育での利用というように、すべて教員に必要なICT活用能力に関する学習内容が含まれています。パソコンに関する認定試験は多数あるが、このような内容の認定試験はないので、教職を目指す学生には積極的に受験を薦めています。

また、大学の公開講座でもICT活用能力の判定にもなるので、受講者である小・中・高校の先生方にも紹介しています。



日本工業技術教育学会
名誉会長 小林一也

孫に、夏休み前パソコンを買ってあげました。隣の机で孫はとても楽しそうにキーを叩いています。一日の中で最も充実したひと時のようです。まるで新しい未知の扉を、一人で切り拓いているような勢いさを感じています。

子等の魂をゆり動かすパソコン、大人たちがその活用に自信を深め、子等の「学び」の面白さの拡大を目指し、能力試験への積極的参加に、大きな期待を寄せています。



九州工業大学
情報工学部
准教授 西野和典

この教育用ICT活用能力認定試験は、現職の教員だけでなく、小・中・高校の教員を目指す大学生にとっても、力を試す良い機会になります。本学にも高等学校教科「情報」の教職課程がありますが、毎年多くの学生が受験しています。2級まで取得する学生が多く、1級を受験する学生もいます。

試験に合格することで、実績を得ることになりますし、試験対策用の問題集で勉強することでICT活用の実力が付きます。まさに一石二鳥です。

学生達に薦めています

教員を目指す学生が、多くの免許や資格を持ち、採用者側にアピールしたい心情はよく理解できます。しかし免許や資格を持っていても、教師としての資質を問われる場合があります。

教育の今日的課題を問題にすると、ICTへの対応は常に上位に来ます。教育ICT試験の合格資格を持って教員採用試験に臨み、パスした事例を私の周辺で多く見ます。

奈良教育大学 教育学部 教授 谷口義昭

2004年の秋に情報科教育法Ⅱを受講する学生に2級の受験を薦めたところ15名の学生が受験し、14名が合格しました。学生は受験前に集中してテキストを勉強しました。内容的には、教育関係につき学生にとって必要な知識であると確信したようです。また学生は就職のときに履歴書に書けることが大きなメリットであるとも語っています。

佐賀大学 文化教育学部 教授 角和博

● 団体受験実施団体 (一部)

東京都日野市教育委員会ICT活用教育推進室・埼玉県朝霞市立朝霞第二小学校・東京都八王子市立七国小学校・NTT東日本長野支店(教育ITご担当)・九州情報大学・埼玉工業大学・佐賀大学・東京情報大学・宮城教育大学・武蔵野大学

● 受験者の声 ●

- 各級で明確な目標が設定されているので、自己研鑽の為の勉強として大変有意義な試験である。現在迄の知識を再確認し且つ新しい知識を習得出来るため、他教員へも薦め受験の輪が広がっている。
(33歳 男性 小学校教員 東京都)
- この試験の「合格」の実績が大変大きな励みとなり、自信を持ち教員採用試験に臨んだ結果、合格した。
(22歳 男性 小学校教員 奈良県)
- ますます重要な役割を担う「ICT」全般に対応出来る教員の育成・確保が急務である昨今、この試験に「合格」の場合に何らかの優遇措置がとられるならば、より一層校務に力を入れて取り組み易くなるだろう。
(52歳 男性 小学校教員 東京都)

◆当試験に対応した問題集もございます。申込方法等の詳細につきましては財団Webをご覧ください。